

京セラHEMS(ナビフィッツ) 対応分電盤施工注意点

技術施工資料(シーン別)

計測機能内蔵型
enステーション EcoEye

日付 : 2017年10月
製造元 : 河村電器産業株式会社

施工注意点まとめ

摘要 : ナビフィッツのみ(仕様書 2.4版 新F型 11月1日 受付分から)
※仕様書 2.2版はこの品種に含まれませんので、あらかじめご注意ください。

計測機能付き分電盤(EcoEye)は基本的に工場出荷時に設定済みですので、設定を変更する必要はございません。設定変更する場合は再設定の必要がございますのでご注意ください。

注意事項: 1次送り(主幹)側について

- ・1次送り(主幹)側の太陽光発電の計測(別盤)に関して太陽光PCS側から値を直接取得している為、EcoEye側での計測は不要。
※分電盤(盤内側も含む)1次送り(主幹)側に関しては分電盤側で設定するものとする。
(なお分電盤側のCTをOFFにする場合、別途アドレス設定(P15参照)必要となりますのでご注意ください。)

注意事項: 2次送り(負荷)側について

- ・基本的に太陽光PCS側から直接計測を行なうことが可能であるが、2次送り(負荷)側については分電側のCTからの計測を優先させ、その場合はナビフィッツの外部計測2(太陽光計測用)の設定をOFFとする。

2-4

LANケーブルを接続する (施工時にLANケーブルやHEMSコントローラーなどがある場合)
「通信計測ユニット」とHEMSコントローラーを「LANケーブル」で接続します。



3

CTを取り付ける

CTには「主幹計測用CT(黒)」と「拡張計測用CT(白)」があります。
拡張計測を行わない場合は「主幹計測用CT」のみ取り付けてください。

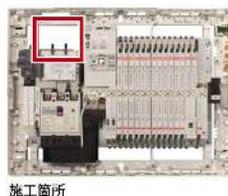
- ・EcoEye 本体に同梱されている拡張計測用CTは全て設置してください。分岐全回路の正しい計測ができなくなります。
- ・CT分割面に埃等が付着すると計測精度に影響が出ます。必ずきれいな状態でご使用ください。
- ・分割式CTはカチッと音がするまでしっかりと噛み合わせてください。
- ・2系統の太陽光発電の場合、個別で計測するかまとめて計測するかによって配線方法が異なります。詳しくはHEMSリーロス会社さまにお問い合わせてください。



3-1

主幹計測用CTを取り付ける

「主幹計測用CT」を、CTのラベルに記載されている「電
源側」が入線元の側に、「負荷側」が主幹ブレーカ側になる
ように電力線のL1とL2へ取り付けてください。



入線側の電源と主幹ブレーカ
の間に取り付けます。

3-2

拡張計測用CTを取り付ける

拡張機器用ブレーカと負荷または発電機の間に取り付けます。



<太陽光発電用ブレーカやその他の拡張機器用ブレーカが**分岐**にある場合>

「拡張計測用CT」を、拡張機器用電線のL1に取り付けてください。
(単相3線式の場合はL2にも取り付けます。)

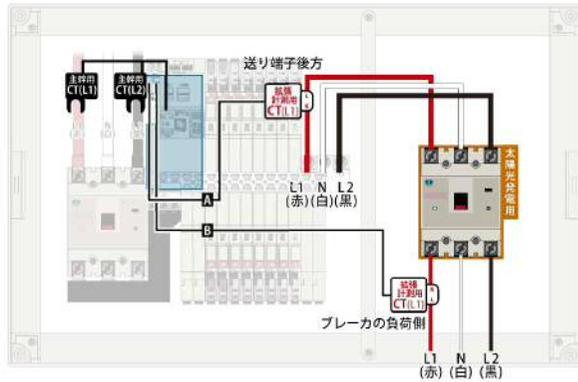
CTのラベルに記載されている『ブレーカ側』を拡張機器用ブレーカの側にし、
『負荷 / 発電機側』を負荷や発電機側になるように設置します。
(拡張機器用ブレーカの位置は負荷名称ホルダーに書かれている拡張機器の名称を参考にしてください。)



国内メーカー製の太陽光発電やガス発電用の機器、蓄電池などの多くは単相2線式ですのでL1の電線に取り付けてください。
中性線欠相保護のため電線が3線になっている場合もありますので、詳しくは接続する機器の説明書をご覧ください。

<太陽光発電用ブレーカが **2次送り側** にある場合>

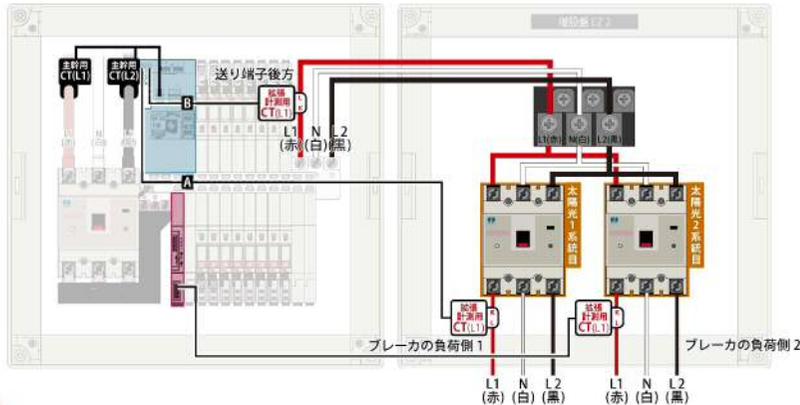
送り端子の後方とブレーカの負荷側の2箇所にてCTを取り付けてください。



❗ 2次送り後の電源相の順番 (L1,N,L2) は EcoEye 本体と合わせてください。正しい計測ができなくなります。

<太陽光発電用ブレーカが **2次送り側に複数** ある場合>

送り端子の後方とブレーカの負荷側それぞれにてCTを取り付けてください。

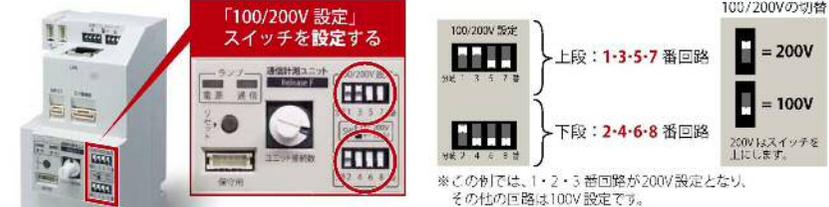


❗
 ・2次送り後の電源相の順番 (L1,N,L2) は EcoEye 本体と合わせてください。正しい計測ができなくなります。
 ・EcoEye 本体の2次送り端子で分岐せず、増設盤などの端子台で分岐させてください。
 ・複数系統の合計値のみを計測する場合は、送り端子の後方だけにCTを設置してください。
 ・2系統の太陽光発電の場合、個別で計測するかまとめて計測するかによって配線方法に決まりがあります。詳しくは HEMS サービス会社さまにお問い合わせください。

4 負荷電圧の設定と接続数の確認をする

4-1 負荷電圧 (100/200V) を **設定** する

「通信計測ユニット」の「100/200V 設定スイッチ」で、200V 回路の位置を指定してください。(200V 回路の計測回路は1~8番回路です。9番以降に設置はできません。)



❗ 指定がない限り工場出荷時は全て100V設定です。回路設計に合わせて設定してください。

4-2 計測ユニットの接続数を **確認** する

搭載されている「拡張計測ユニット」と「パルス計測ユニット」の合計数が表示されていますので、確認をしてください。



❗ 工場出荷時に設定済みです。設定を変更しないでください。

※ 数が含まない場合や「拡張計測ユニット」や「パルス計測ユニット」の増設時には、スイッチを回して数が一致するように設定してください。

5 接続の確認をする

EcoEye 本体に付属の別紙『施工チェックリスト (表面『お客さまシート』)』で各接続箇所をチェックしてください。電力線、信号線、CT、LAN がそれぞれ正しく接続されているかを確認してください。

❗ EcoEyeは電子機器製のため電源絶縁 (L1,N,L2,N,L1-L2間)に絶縁抵抗試験は行わないでください。

❗ 国内メーカー製の太陽光発電やガス発電用の機器、蓄電池などの多くは单相2線式です。L1の本線に取り付けてください。中性線欠相保護のため3線になっている場合もありますので、詳しくは接続する機器の説明書をご覧ください。

6 負荷名称シートの控えを記入する

EcoEye本体の『負荷名称シート』と同じ内容を別紙『お客さまシート(裏面『施工チェックリスト』)』に記入してください。
負荷名称や拡張計測の対象などが分かるようにしてください。

本付属
お客さま
シート

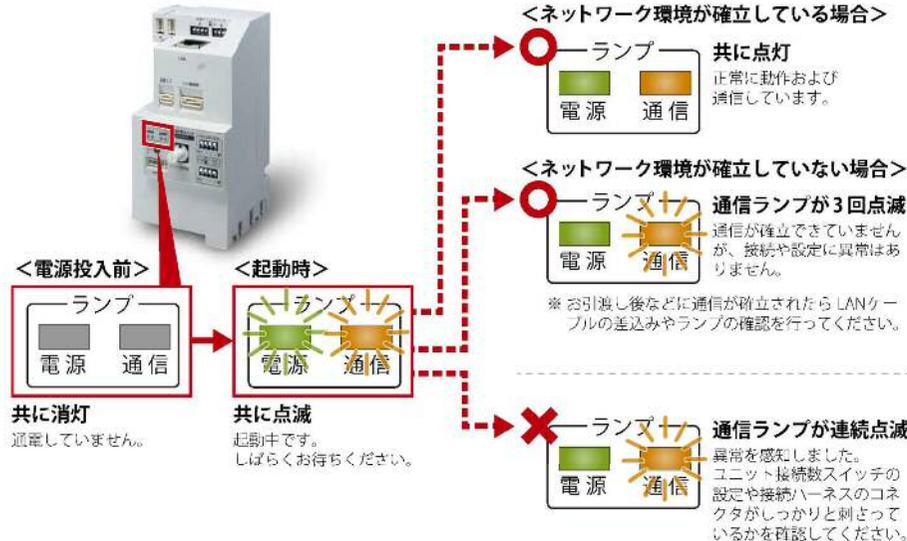
! 負荷名称や計測対象は必ず記入してください。
HEMSサービス会社によってはお客様自身に負荷名称の登録を依頼される場合もあり、記載がないと計測結果が正常に反映できなくなります。記入した『お客さまシート』は必ずお客さまへお渡しください。

7 主電源を入れる

8 LEDランプの状態を確認する

「通信計測ユニット」のLEDランプを確認してください。

参照ページ
P.50



※ その他の表示をしている場合は、P.50「LEDランプを確認する」を参照してください。

P5 9 施工完了

LEDランプを確認する

施工後または異常や不具合を感じた場合は、通信計測ユニットのLEDランプの状態を確かめてください。電源ランプは緑色、通信ランプはオレンジ色です。



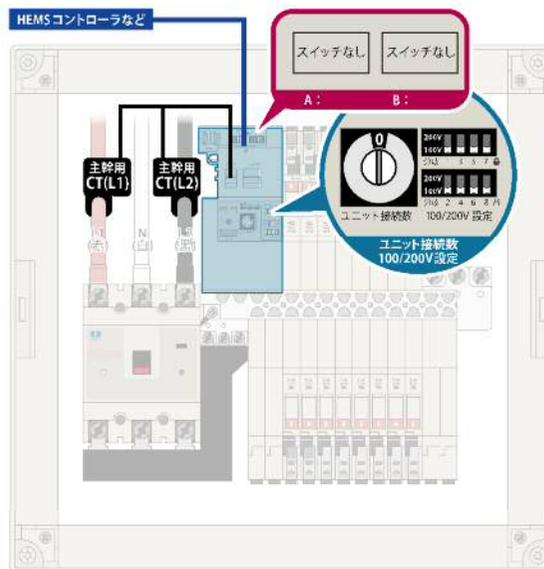
	ランプの状態	意味	対処方法
起動時の動作	ランプ: 電源 通信 電源: 消灯 / 通信: 消灯	通電なし	・主幹ブレーカがONになっているか確認してください。 ・配線が間違っていないか確認してください。
	ランプ: 電源 通信 電源: 点滅 / 通信: 点滅	起動中	・1分程度お待ちください。
	ランプ: 電源 通信 電源: 点灯 / 通信: 点灯	通常状態	正常に動作している状態です。 ・計測値に異常が見られる場合はP.46「トラブルシューティング」を参照してください。
エラー時の動作	ランプ: 電源 通信 電源: 連続点滅	内部機器エラー	・リセットボタンを押して再起動してください。 ・状況が改善されない場合はEcoEye本体付属の別紙「施工説明書」の“お問い合わせ先”へ連絡してください。
	ランプ: 電源 通信 電源: 2回点滅	ファームウェア更新中	・しばらくお待ちください。
	ランプ: 電源 通信 電源: 3回点滅	逆潮流検出中	・太陽光発電などで売電中の場合はエラーではありません。 ・発電をしていない場合は取り付けられたCTの向きが逆になっている可能性がありますのでご確認ください。
	ランプ: 電源 通信 通信: 連続点滅	ユニット認識エラー	・「ユニット接続数設定スイッチ」を確認してください。 (P.28「負荷電圧の設定と接続数の確認をする」参照) ・接続ハーネスが正しく接続されているか確認してください。 (P.24「ケーブル・ハーネスを配線する」参照)
	ランプ: 電源 通信 通信: 2回点滅	IP設定中	・1分程度お待ちください。
	ランプ: 電源 通信 通信: 3回点滅	LAN通信リンク断	・LANの通信が正常に行われていません。 配線やコネクタの差込み、およびHEMSコントローラなどの接続先に電圧が入っているかを確認してください。 (通信設備が確立されていない場合は異常ではありません)

構成パターン① (スタンダードタイプ)

1. スタンダード品種 (ELY〇〇F, ENY〇〇F)

凡例： ■ 通信計測ユニット ■ 拡張/パルス計測ユニット ■ 拡張機器用ブレーカ — LANケーブル - - - (本体) 拡張ユニット間接続ハーネス — 計測用CTケーブル

1-1. スタンダード



対象品種：
ELY〇〇F、
ENY〇〇F

品種	主幹*	分岐
L有：ELY	40A：L83P40A	回路数：16～40回路
	50A：L83P50A	
	60A：L83P60A	
L無：ENY	75A：L83P75A	100V：MCB2P1E20A
	100A：L83P100A	100-200V：MCB2P2C20A

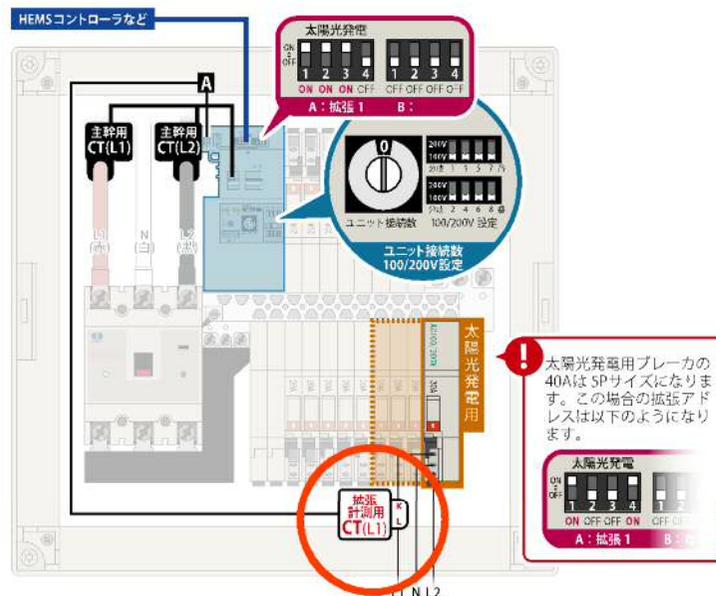
※ 100Aはリミッタースペースなしのタイプで選択可能。75A,100Aは20回路以上で選択可能。

構成パターン② (太陽光発電[30A/40A 2次])

6. 太陽光発電 (2次) 品種 (EL2Y〇〇F, EN2Y〇〇F)

凡例： ■ 通信計測ユニット ■ 拡張/ハルス計測ユニット ■ 拡張機器用ブレーカ — LANケーブル - - - - (本体) 拡張ユニット間接続ハーネス — 計測用CTケーブル

6-1. 太陽光発電 (2次)



対象品種：
EL2Y〇〇-3または4F、
EN2Y〇〇-3または4F

太陽光発電用CTは接続してください。

ナビフィットの外部計測2 (太陽光計測用) の設定をOFF

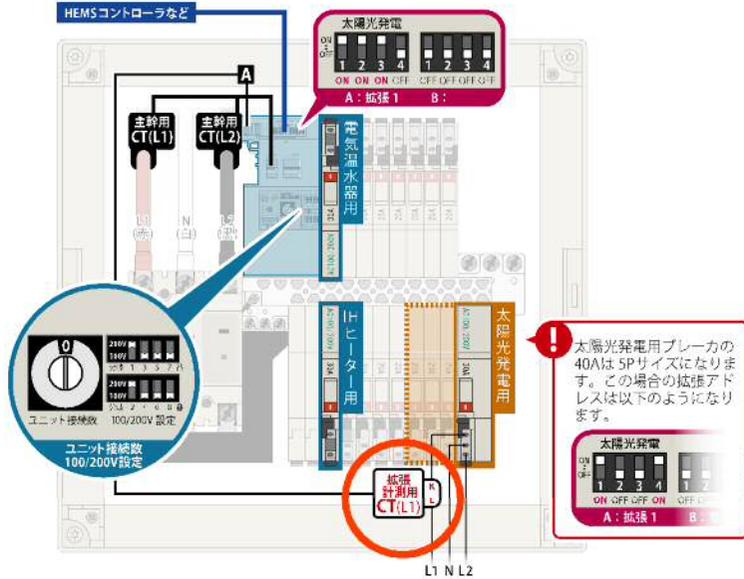
品種	主幹*	分岐	太陽光発電 (2次側)
L有: EL2Y	40A : LLB3P40A 50A : LLB3P50A 60A : ELB3P60A	回路数 : 16 ~ 40 回路	30A : MCB3P2F30A 40A : MCB3P3L40A
L無: EN2Y	75A : ELB3P75A 100A : ELB3P100A	100V : MCB2P1E20A 100-200V : MCB2P2F20A	

※ 100Aはリミッタースペースなしのタイプで選択可能。75A,100Aは20回路以上で選択可能。

構成パターン③ (太陽光発電[30A/40A 2次]+IH+電気温水器[20A/30A 2次])

6. 太陽光発電 (2次) 品種 (EL2Y〇〇F, EN2Y〇〇F)

6-2. 太陽光発電 (2次) + IH + 電気温水器 (2次)



対象品種:
EL3Y〇〇-3〇または4〇F、
EN3Y〇〇-3〇または4〇F

品種	主幹*	分岐			太陽光発電 (2次側)
L有: EL2Y	40A: ELB3P40A	回路数: 16~40 回路			30A: MCB3P2E30A 40A: MCB3P3E40A
	50A: ELB3P50A	一般分岐	IHクッキングヒーター (200V)	電気温水器 (200V)	
	60A: ELB3P60A	100V: MCB2P1E20A	30A: MCB2P2E30A	20A: MCB2P2E20A 30A: MCB2P2E30A	
L無: EN2Y	75A: ELB3P75A	100-200V: MCB2P2E20A			
	100A: ELB3P100A				

※ 100Aはリミッタースペースなしのタイプで選択可能。75A,100Aは20回路以上で選択可能。

太陽光発電用CTは接続してください。
ナビフィットの外部計測2 (太陽光計測用) の設定をOFF

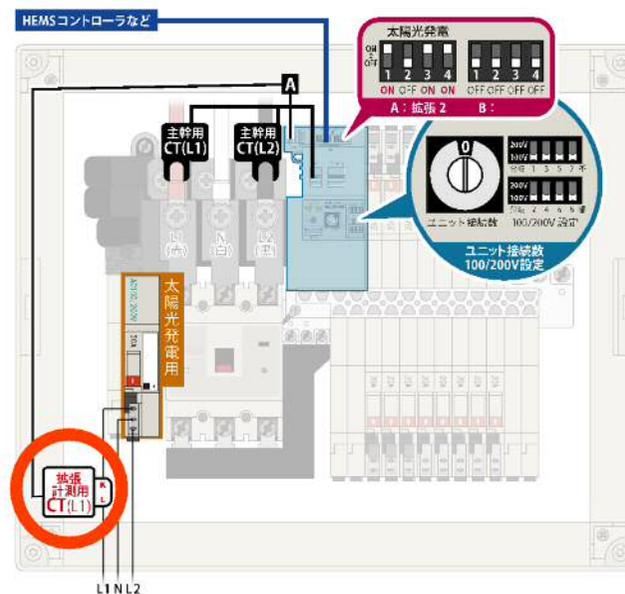
上図はリミッタースペースなしのタイプで工場出荷時の状態を例にしています。改修工事などで増設をする場合はレイアウトなどが異なります。詳細はご担当窓口さまへお問い合わせください。

構成パターン④ (太陽光発電[30A 1次])

10. 太陽光発電(1次)品種 (EL6TY○○F, EN6TY○○F)

凡例: 通信計測ユニット 拡張/パルス計測ユニット 拡張機器用ブレーカ LANケーブル (本体) 拡張ユニット間接続ハーネス 計測用CTケーブル

10-1. 太陽光発電(1次)



対象品種:
EL6TYOOF
EN6TYOOF

※太陽光発電用CT(1次)は接続してください。

品種	主幹 ^{※1}	分岐	太陽光発電 ^{※2}
L有: EL6TY	40A : ELB3P40A 50A : ELB3P50A 60A : ELB3P60A	回路数: 16 ~ 40 回路	30A : FI B3P2F30A
L無: EN6TY	75A : ELB3P75A 100A : ELB3P100A	100V : MCB2P1E20A 100-200V : MCB3P2F30A	

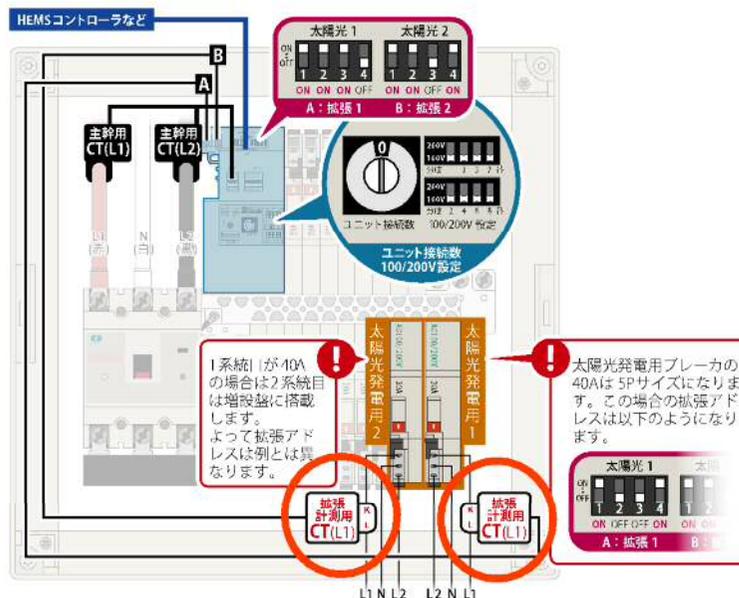
※1:100Aはリミッターベースなしのタイプで選択可能。75A,100Aは20回路以上で選択可能。 ※2:40 ~ 50Aのブレーカは増設盤への搭載になります。詳細は商流担当までご相談ください。

構成パターン⑤ (太陽光発電[30A 2次×2系統])

8. 太陽光発電(2次)2系統品種 (EL5TY○○F, EN5TY○○F)

凡例：通信計測ユニット 拡張/パルス計測ユニット 拡張機器用ブレーカ LANケーブル (本体) 拡張ユニット間接続ハーネス 計測用CTケーブル

8-1. 太陽光発電(2次)2系統



対象品種：
EL5TYOO-33F
EN5TYOO-33F

品種	主幹	分岐	太陽光発電1系統目*	太陽光発電2系統目*
L有: EL5TY	50A : ELB3P50A 60A : ELB3P60A	回路数: 18 ~ 38 回路	30A : MCB3P2E30A 40A : MCB3P3E40A	30A : MCB3P2E30A
L無: EN5TY		100V : MCB2P1C20A 100-200V: MCB2P2E20A		

※ 40Aのブレーカを搭載した場合は、2系統目は容量に関わらず増設盤に搭載します。詳細は商流担当までご相談ください。

太陽光発電用CTは接続してください。

ナビフィットの外部計測2(太陽光計測用)の設定をOFF

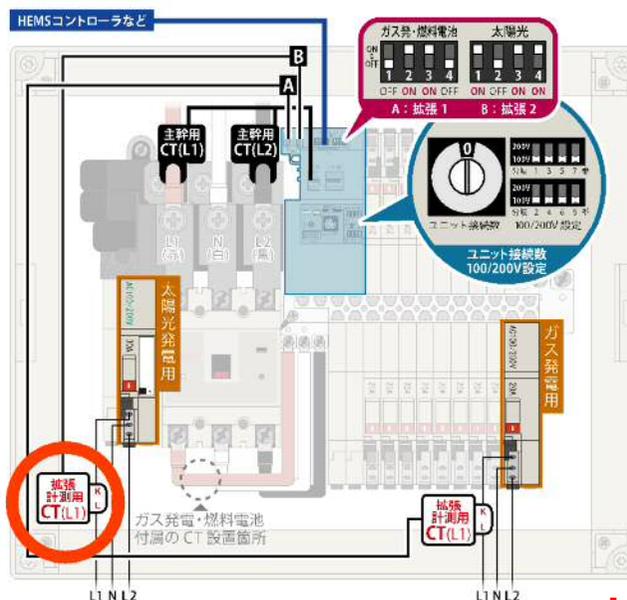
～設計施工ガイド構成パターン集より～

構成パターン⑥ (太陽光発電[30A/40A 1次] + ガス発電)

12. 太陽光発電(1次)+ガス発電・燃料電池品種 (EL5Y〇〇F, EN5Y〇〇F)

凡例：通信計測ユニット 拡張/バルス計測ユニット 拡張機器用ブレーカ LANケーブル (本体) 拡張ユニット間接続ハーネス 計測用CTケーブル

12-1. 太陽光発電(1次) + ガス発電・燃料電池



対象品種：
EL5Y〇〇F
EN5Y〇〇F

※太陽光発電用CT(1次)は接続してください。

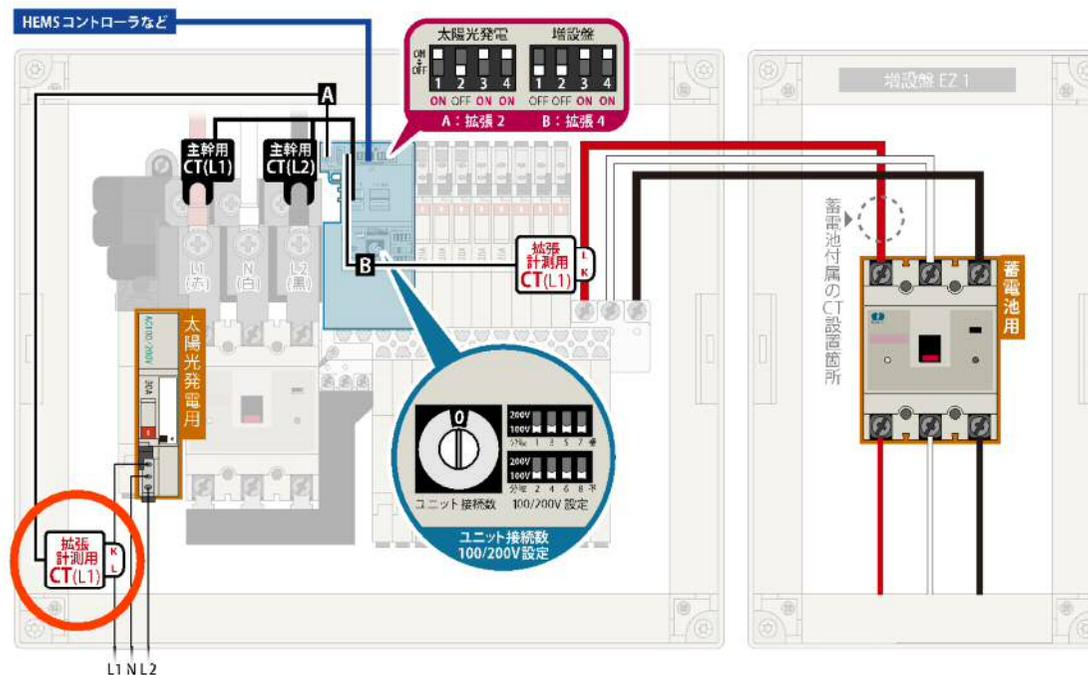
品種	主幹※1	分岐	太陽光発電(1次側)※2	ガス発電・燃料電池
L有: EL5Y	50A : ELB3P50A 60A : ELB3P60A 75A : ELB3P75A 100A : ELB3P100A	回路数: 16 ~ 40 回路	30A : F1B3P2F30A	20A : MCB3P3F20A
L無: EN5Y		100V : MCB2P1E20A 100V-200V : MCB2P2T20A		

※1:100Aはリミッタースペースなしのタイプで選択可能。75A,100Aは20回路以上で選択可能。 ※2:40 ~ 50Aのブレーカは増設壁への搭載になります。詳細は商流担当までご相談ください。

～設計施工ガイド構成パターン集より～

参考資料：蓄電池の設置の場合①

10-4 太陽光発電(1次) + 蓄電池(2次送り増設盤)



品種	主幹 ^{※1}	分岐	太陽光発電 ^{※2}	蓄電池(200V) ^{※3}
L有: EL6TY	40A : FI B3P40A 50A : LLB3P50A 60A : ELB3P60A 75A : ELB3P75A 100A : ELB3P100A	回路数: 16 ~ 40 回路 100V : MCB2P1E20A 100-200V: MCB2P2E20A	30A : ELB3P2E30A	20A : MCB / ELB 3P3E20A 30A : MCB / ELB 3P3E30A 40A : MCB / ELB 3P3E40A 50A : MCB / ELB 3P3E50A
L無: EN6TY				

※太陽光発電用CTは接続してください。

※3: MCB/ELB はご使用の蓄電池の仕様をご確認ください。

※1:100Aはリミッタースペースなしのタイプで選択可能。75A,100Aは20回路以上で選択可能。 ※2:40 ~ 50Aのブレーカは増設盤への搭載になります。詳細は商流担当までご相談ください。

上図はリミッタースペースなしのタイプで工場出荷時の状態を例にしています。改修工事などで増設をする場合はレイアウトなどが異なります。詳細はご担当窓口さまへお問い合わせください。

～設計施工ガイド構成パターン集より～

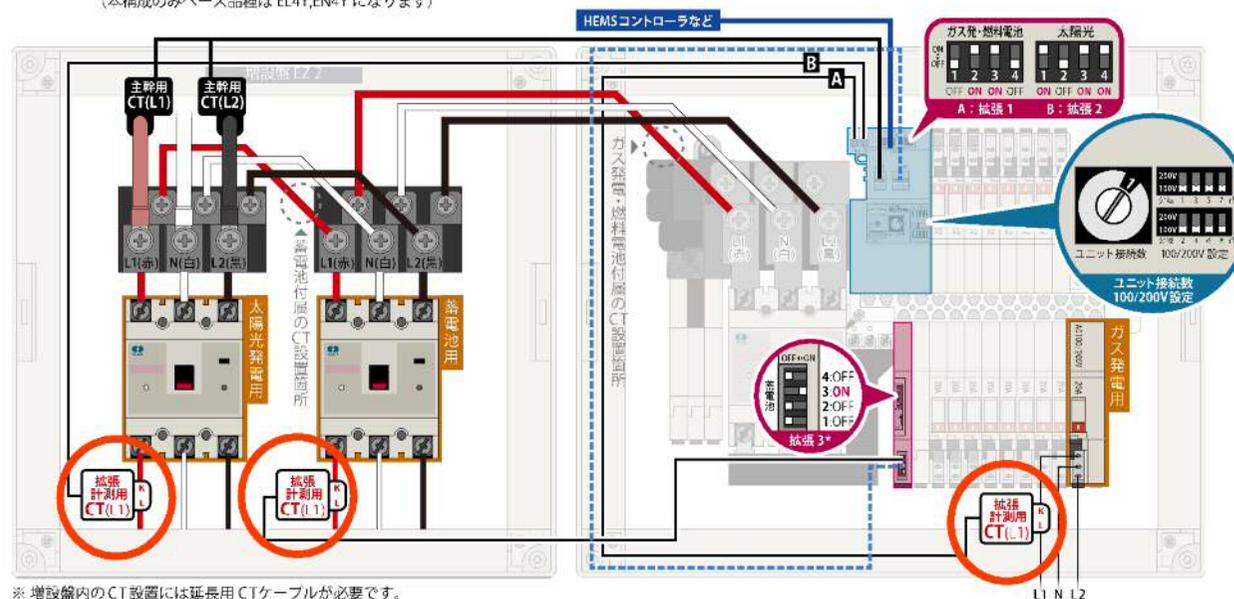
参考資料：蓄電池の設置の場合②

12. 太陽光発電(1次)+ガス発電・燃料電池品種 (EL5Y〇〇F, EN5Y〇〇F)

凡例：通信計測ユニット 拡張/ハルス計測ユニット 拡張機器用ブレーカ LANケーブル (本体) 拡張ユニット間接続ハーネス 計測用CTケーブル

12-3. 太陽光発電(1次)+ガス発電・燃料電池+蓄電池 [1次送り増設盤]

(本構成のみベース品種はEL4Y, EN4Yになります)



※ 増設盤内のCT設置には延長用CTケーブルが必要です。

品種	主幹 ^{※1}	分岐	太陽光発電(1次側) ^{※2}	ガス発電・燃料電池	蓄電池(200V) ^{※3}
L有: EL4Y	50A : ELB3P50A 60A : ELB3P60A	回路数 : 16 ~ 40 回路	30A : ELB3P3E30A 40A : ELB3P3E40A	20A : MCB3P3F70A	20A : MCB / ELB 3P3E20A 30A : MCB / ELB 3P3E30A 40A : MCB / ELB 3P3E40A 50A : MCB / ELB 3P3E50A
L無: EN4Y	75A : ELB3P75A 100A : ELB3P100A	100V : MCB2P1E20A 100-200V : MCB2P2F70A			

※太陽光発電用CTは接続してください。

※1:100Aはリミッタースペースなしのタイプで選択可能。75A,100Aは20回路以上で選択可能。 ※2:40 ~ 50Aのブレーカは増設盤への搭載になります。詳細は商流担当までご相談ください。
★ 汎用アドレスを設定します。上図で設定されている拡張アドレスおよび拡張 No. はこの構成例の場合のもです。詳しくは巻末資料「拡張アドレスチェックシート」を参照してください。

※3: MCB/ELB はご使用の蓄電池の仕様をご確認ください。

～設計施工ガイド構成パターン集より～

拡張アドレスとは

「拡張計測ユニット」や「パルス計測ユニット」には、それぞれを個別に識別するために拡張アドレスを設定します。拡張アドレスには拡張機器の種類や搭載位置の情報も含まれているため、間違った設定をしてしまうと正しい計測データを取得することができません。

通常は**工場出荷時に設定済みですので変更する必要はありません**が、間違っして設定してしまった場合や EcoEye に機能を追加する際には仕様に基づいた正しい設定をする必要があります。

拡張アドレスの設定方法



通信計測ユニット

【通信計測および拡張計測ユニット】
各計測ユニットの「拡張アドレス設定スイッチ」で設定をします。

4つあるスイッチの ON/OFF のパターンによって拡張アドレスが決まります。拡張機器やその搭載位置によって拡張アドレスは異なりますので P.72 「拡張アドレスの選定チャート」を参照して正しく設定をしてください。



パルス計測ユニット

【パルス計測ユニット】
パルス計測ユニットの「アドレス設定スイッチ」で設定をします。

1台目の「パルス計測ユニット」は1のスイッチを ON 側にして2のスイッチは OFF 側にします。
2台目の「パルス計測ユニット」は2のスイッチを ON 側にして1のスイッチは OFF 側にします。
(下図参照)



拡張アドレス設定スイッチの変更の仕方

ドライバーなど先の細いものでスイッチをスライドさせてください。スイッチを「ON」にするには通信計測ユニットでは上側、拡張計測ユニットやパルス計測ユニットでは左側にスライドさせます。

拡張計測ユニットの拡張アドレス設定の注意点

- 拡張アドレスは全部で 16 種類あります。
- 拡張機器やその搭載位置によって拡張アドレスは異なります。
- 拡張 No. は重複して設定することはできません。
- ECHONET Lite の対応バージョン (Release) によって設定できない拡張アドレスがあります。

拡張アドレスの一覧



通信計測ユニットおよび拡張計測ユニットに設定する拡張アドレスの一覧表です。Release B と F では設定できる範囲が異なりますのでご注意ください。ここで紹介するのは Release F のものです。

- 「拡張 No.」は 1～7 までであり、それぞれ A～E のタイプがあります。
- 1つの EcoEye の中で「拡張 No.」は重複してはいけません。
- E 行は「汎用アドレス」で未使用の「拡張 No.」のうち、番号が小さいものから順に使用していきます。

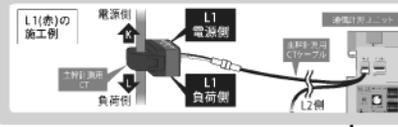
拡張 No. タイプ	拡張 1	拡張 2	拡張 3	拡張 4	拡張 5	拡張 6	拡張 7	
A	4:OFF 3:ON 2:ON 1:OFF ガス発電/燃料電池 (EXスペース)		4:OFF 3:ON 2:ON 1:ON EV充電器 (分岐上段右端)					
B	4:ON 3:OFF 2:OFF 1:ON 太陽光1系統目 40A (EXスペース)	4:ON 3:ON 2:OFF 1:ON 太陽光1系統目 (1次送り※2次送り)						
C	4:OFF 3:ON 2:ON 1:ON 太陽光1系統目 (EXスペース)	4:ON 3:OFF 2:ON 1:ON 太陽光2系統目 (分岐下段右端)			4:ON 3:ON 2:ON 1:OFF 太陽光2系統目 (1次送り※2次送り)			
D	4:OFF 3:OFF 2:ON 1:ON 太陽光/ガス発電/燃料電池 (EXスペース)			4:ON 3:ON 2:OFF 1:OFF 2次送り計測用 (2次送り端子直後)				
E (その他別冊)	4:OFF 3:OFF 2:OFF 1:ON	4:OFF 3:OFF 2:ON 1:OFF	4:OFF 3:OFF 2:OFF 1:OFF	4:OFF 3:ON 2:OFF 1:OFF	4:ON 3:OFF 2:OFF 1:OFF	4:OFF 3:ON 2:OFF 1:ON	4:ON 3:OFF 2:ON 1:OFF	4:OFF 3:OFF 2:OFF 1:OFF

「通信計測ユニット」の拡張アドレスを設定する場合は、上図と向きに違いがありますので各スイッチの ON/OFF に注意して設定してください。

施工説明書の「施工方法 - 6 接続を確認する」では、このチェックリストと施工説明書を参照して確認をおこないます。

主幹計測用 CT

- ・L1 と L2 共に取り付けてありますか？
- ・K(電源側)とL(負荷側)の向きは正しいですか？
- ・「主幹計測用 CT ケーブル」のラベル (L1 と L2) に合わせて接続されていますか？
- ・「主幹計測用 CT ケーブル」は「通信計測ユニット」の「主幹計測用 CT コネクタ」に差し込まれていますか？



LAN ケーブル

- ・「通信計測ユニット」に LAN ケーブルが奥まで差し込まれていますか？
- ・LAN ケーブルに「フェライトコア」が取り付けられていますか？

通信計測ユニットの設定

- ・「ユニット接続数設定スイッチ」の数字は「計測ユニット」の合計数と同じですか？
- ・「100/200V 設定スイッチ」は負荷電圧に対応して設定されていますか？

送り電線

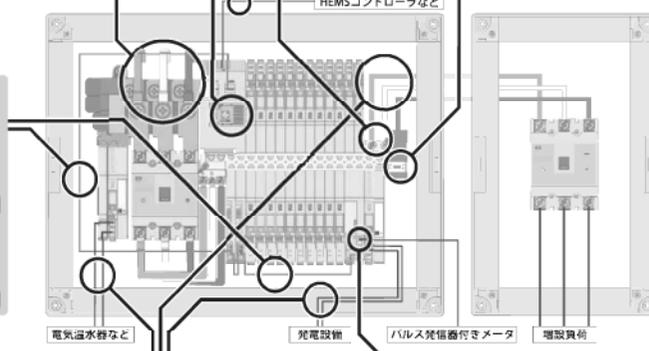
- ・上からまっすぐ配線されていますか？
- ・電源相の順番 (L1, N, L2) は合っていますか？

端子カバー

- ・取付けてありますか？

ユニット間の接続

- ・「通信計測ユニット」と「拡張計測ユニット (または「ハルス計測ユニット」)」は「本体-拡張ユニット間接続ハーネス」を使って接続されていますか？
- ・「拡張計測ユニット (または「ハルス計測ユニット」)」同士は「拡張ユニット間接続ハーネス」を使って接続されていますか？



拡張計測用 CT (発電および負荷回路)

- ・L1 と L2 共に取り付けてありますか？ (单相 3 線の場合)
- ・K (ブレーカ側) と L (負荷側) の向きは正しいですか？
- ・「拡張計測用 CT ケーブル」に接続されていますか？
- ・「拡張計測用 CT ケーブル」のラベル (L1 と L2) に合わせて接続されていますか？ (单相 3 線の場合)
- ・「拡張計測用 CT ケーブル」は「拡張計測ユニット」の「拡張計測用 CT コネクタ」に差し込まれていますか？

ハルス計測ユニット

- ・「ハルス計測用ケーブル」が奥まで差し込まれていますか？

- ・分岐に搭載された発電回路と、送り端子に接続された回路にそれぞれ CT を取り付けていますか？
- ・「拡張計測ユニット」のアドレスは別紙「施工説明書「アドレスの設定」」の通りに設定されていますか？

主電源投入後

LED ランプの確認

- ・「通信計測ユニット」の「電源ランプ」は緑色、「通信ランプ」はオレンジ色に点灯していますか？

ランプが点滅しているときの対処方法

- 1 連続点滅 ... リセットボタンを押して「通信計測ユニット」を再起動してください。
- 2 回点滅 ... ファームウェア (内部プログラム) の更新中です。しばらくお待ちください。
- 3 回点滅 ... 逆潮流 (発電) を検出しています。発電回路がない、または切っている場合は主幹計測用 CT が逆向きに取り付けられていないか確認してください。

対知後もランプが正常に点灯しない場合は、機器の異常やケーブルの断線が考えられます。別紙「施工説明書」の「お問い合わせ先」へ連絡してください。

HEMS ID:
 (HEMS ID を入力してください)

様邸

AVL 計測	1	2	水道	水道	水道	ガス	ガス
	1	2	水道	水道	水道	ガス	ガス

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

1 次側		2 次側	
1 次側		2 次側	

1 次側	2 次側
1 次側	2 次側

1 次側	2 次側
1 次側	2 次側

1 次側	2 次側
1 次側	2 次側

1 次側	2 次側
1 次側	2 次側

1 次側	2 次側
1 次側	2 次側

1 次側	2 次側
1 次側	2 次側

1 次側	2 次側
1 次側	2 次側

お問い合わせ先

承り時間は 土・日・祝祭日・年末年始を除く、AM 9:00 ~ PM 5:00 です。

技術相談専用テレホンサービス **TEL : (0561) 86 - 8171**

お問い合わせの際は **品名** や **具体的な状況** をお知らせください。

【本社】 〒489-8611
愛知県瀬戸市暁町3-86 TEL:(0561)86-8111 <http://www.kawamura.co.jp/>

本ガイドブックに記載されている仕様及び外観は予告無く変更する場合があります。